

日本工学院専門学校		開講年度	2019年度		科目名	専攻実技1	
科目基礎情報							
開設学科	ミュージックアーティスト科		コース名	ヴォーカリストコース		開設期	前期
対象年次	1年次		科目区分	必修		時間数	30時間
単位数	1単位					授業形態	演習
教科書/教材	毎回レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する						
担当教員情報							
担当教員	金澤法皇、末光篤			実務経験の有無・職種	有・ミュージシャン		
学習目的							
音楽理論の基礎をしっかりと身につける。記号の書き方、音符の長さなどの基本から、スケール、音程までは最低でもしっかりと理解し、楽譜をきっちりと読めるようにする。また、自身の曲を書く学生は、自身の曲の譜面を書けるようにする。							
到達目標							
様々な基本用語を覚え、実際の実習で活かせるようにする。また、様々な手法を駆使して、自身のオリジナル楽曲にいかせるようにする。既存曲も自身で楽曲分析を出来るようにする。							
教育方法等							
授業概要	なるべく少人数制のグループで授業を進めていく。授業開始には必ず復習の小テストを行い、何度も繰り返し行う事によって、徹底して理解させる。						
注意点	理解度の高い学生と、そうでない学生との差が大きいため、上手くそれぞれに合わせた授業内容で進めていく。理解できていない学生には別途、個人レッスンをおこない、とりこぼしのないように進めていく。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	試験・課題	30%	試験と課題を総合的に評価する				
	小テスト	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する				
	レポート	20%	授業内容の理解度を確認するために実施する				
	成果発表 (口頭・実技)	30%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する				
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する				
授業計画（1回～15回）							
回	授業内容			各回の到達目標			
1回	リズム1			音符の長さ、読み書き1			
2回	リズム2			音符の長さ、読み書き2			
3回	リズム3			音符の長さ、読み書き3			
4回	スケール1			Cを中心としたスケールを理解させる1			
5回	スケール2			Cを中心としたスケールを理解させる2			
6回	スケール3			G Fを中心としたスケールを理解させる1			
7回	スケール4			G Fを中心としたスケールを理解させる2			
8回	スケール5			G Fを中心としたスケールを理解させる3			
9回	音程1			2, 3度①			
10回	音程2			2, 3度②			
11回	音程3			4, 5度①			
12回	音程4			4, 5度②			
13回	音程5			6, 7度①			
14回	音程6			6, 7度②			
15回	まとめ			前期のまとめ			